

故郷ではない
でもここは
心が帰る場所

ずっと耳に残る音楽が、どこから生まれてきたのか。

一度見ただけで目に焼きつく絵画が、どうして描かれたのか。

胸に深く染み入るその文章が、どんなふうにかかれたのか。

何かに大きく心を動かされたとき、人は、それを残したくなるものだろう。

楽譜や絵の具で、世界にとどめておきたいくなるのだ。

うつくしいと感じた光景を、ではなくて、

うつくしいと感じて震えた、自分の心を。

私に音楽は作れない。絵も描けない。文章も、なかなかむずかしい。

だから私は旅をする。心を動かすものに会おうために。

心を震わせ続けるために。

作家
関川光佳

ストーリーのあるまち

香美町

「東垣の田園風景」

